

私たちにお任せください

キラリこの1台

■報告者：鈴木 悠平 ■車名：プリウス ■型式：DBA-ZVW30

みせ物語

Host: 平山 (フロント)
販売課

Shall we take a break?

2023年から施行! 私たちにも関係ある道路交通法の変更とは?

写真のモデル: 樋山 (左) / 新井山 (右)

フォトグラファー: 嵯峨倫寛 編集: (有) レイランド

三森コーポレーションが誇る中古部品に関する プロフェッショナルスタッフをご紹介します

門間 一久 KAZUHISA MONMA

主な業務: 販売フロント

勤続年: 30年

趣味・特技・ハマっている事、お勧めスポットなど

普段、家にいると妻には邪魔者扱いされ(笑)、子供は大きくなってしまったので、私に寄って来るのは、かわいい2匹の飼猫だけです。よくこの猫ちゃん達と遊んで癒されています。実はこの猫ちゃん達は、保護猫譲渡会の時に子猫を譲り受け、今年で7年目になります。仕事が終わって家の玄関を開けるとお出迎えしてくれる時があるのですが、愛車ジムニーのマフラー音で私が帰って来るのがわかるみたいで、とてもかわいいやつです。ちなみに妻がお出迎えしてくれたことは一回もありません。・・・当たり前か?? (笑)

趣味は、休日に愛車で林道や廃道を探して走りに行き、地元のおいしい食べ物探しや、日帰り温泉など目的地を決めず過ごすのが楽しみです。日頃の仕事や家庭のストレス? 発散に景色の綺麗な所や温泉で疲れを癒して過ごしています。

私の最近のおすすめスポットは、宮城県石巻市にある「上品山(じょうぼんやま)*」と、その近くにある「追分温泉」です。

「上品山」は河北町から石巻市街が一望でき、晴れた夜には夜景も見えサイコーの場所です。近くには風力発電塔と牧場がありますが、人はほとんど来ない寂しい所でもあります。その代わり鹿がたまに来ます! ちなみに熊出没注意の看板もあります・・・といっても、まだ熊には出会った事はないですが・・・「追分温泉」は、近くに道の駅「上品の里」があり併設して日帰り温泉があるため、そちらへ行く人が多いのかもしれませんが、逆にこの「追分温泉」は、ほぼ地元民しか行かない穴場となっていて、日帰り温泉もできる宿となっています。

温泉自体は源泉温度が低いため加熱をしていますが、ラジウムを多く含む、樹齢500年のカヤの木でつくられた大きな浴槽が自慢の立派な温泉宿です。

また、峠の山間にたたずむ古い作りの宿がとても絵になります。中は昭和レトロな雰囲気タイムスリップした感覚になります。

それに、オーナーが車好きで、古い車と古いバイクがいつも有るのもいい雰囲気醸し出しています。

もし、石巻市の近くに来ることがあれば是非1度行ってみたい場所です。

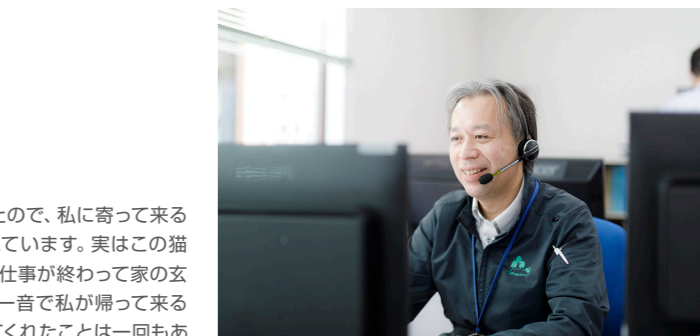
*上品=「じょうひん」ではなく「じょうぼん」と読みます

今の仕事について、仕事で気をつけている事

弊社にお問い合わせいただくお客様は、昔からのお付き合いがある方が多く部品問合せ以外にも技術的な事や互換等のご相談も多いので、長年の経験と知恵で少しでもお客様にお役に立てるように心がけております。

愛車と選んだ理由、気に入っている点

「ジムニー JB23W」趣味にも書いたように、林道など細い山道をするのには最高の車です。社外パーツも豊富にあり、色々と自分好みに改造出来るので飽きることがなく、ラダーフレームで頑丈なところ。また、モデルチェンジまでの期間も長い車でしたが、あまり古臭さを感じない所も気に入っています。夏は砂浜、冬は雪山に行き4WDの走破性で不安なくどんどん進めます。たまに藪だらけの林道に入り「ここは・・・帰れるのか・・・」と不安になりながらスリルも味わえるのが魅力です。



お客様へ

弊社では、中古、リビルト、社外新品など乗用車、外車、トラックまで幅広い部品の取り扱いと、他社には無いリプレスマフラーなどオリジナル商品のラインナップも御座います。ぜひ沢山のお問い合わせお待ちしております。



自動車リサイクル部品の供給で地球温暖化に貢献する Green Point Club

2023年1月～2月までの2ヶ月間で弊社が販売した自動車中古部品・リビルト部品のCO2削減量は
223,810kg (223t) の削減でした。
杉木に換算すると15,986本でした。

※杉の木1本で年間約14kgのCo2吸収量(出典:環境省/林野庁)

※Co2削減データはグリーンポイントシステムにより算出しました。

日本自動車リサイクル部品協議会と早稲田大学環境総合研究センターの共同で、自動車リサイクル部品の活用が新品部品に比べて環境負荷削減効果がどの程度あるか、環境負荷の差をCO2削減効果として換算・数値化する「グリーンポイントシステム」を開発しました。これにより1点1点の部品に対して新品を使用する場合とリサイクル部品を使用する場合を比較し、その差を「CO2削減貢献ポイント」として数値が見えるようになりました。

弊社は、一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会及び、グリーンポイントクラブに加盟しているリサイクル団体【SPN】の正規会員です。 参照:<https://www.japra.gr.jp/>



Mitsumori Corporation

株式会社 三森コーポレーション

〒983-0821 宮城県仙台市宮城野区岩切3丁目2番24号
部品のお問合せは: TEL 022-255-6564 FAX 022-396-1008
URL <http://www.3mori.co.jp>



■報告者：鈴木 悠平
■車名：プリウス
■型式：DBA-ZVW30

新この1台

私が紹介する車はプリウス ZVW30 です。

この車の思い出

ハイブリッド車を理解するには乗った方が早い！
と思いプリウスを買いました。

皆さんこんにちは！今回私からご紹介させていただく車はプリウス『ZVW30』になります！

自動車関連の皆さんには30プリウスの名称で知られていますよね。

まず、なぜ私がプリウスに乗っているのか、それは数年前にはほとんど問合せが無かった『HVバッテリー』のお問合せを最近よくいただくようになってきたからです。

実際に専門書や雑誌などで構造を少し勉強してみましたがよく理解できなかったのが始まりです・・・汗

今まではガソリン車しか乗ったことがなかったので、じゃ「ハイブリッド車を勉強・理解するには乗った方が早い！」と思いプリウスを購入しました。

ただ今までの10系、20系プリウスと言うとあまりカッコよくないイメージでした（あくまで個人の意見ですが）。

初代プリウス（NHW10）は初のハイブリッドカーでしたがまだ当時の私には乗りたと思いませんでした。ただガソリン車と同様の走行性能を保ちながら約2倍の低燃費とCO2排出量半減など、まさに21世紀のこれからの車の未来を示した1台だったと思います。

それから2代目のプリウス（NHW20）が2003年後半に販売され、このあたりからよく走っているのを見かけるようになります。実際に乗っていた方もいらしたのではないのでしょうか？

10プリウスから大きく変わったのが4ドアセダンから5ドアハッチバックに変わり、「使いやすいそうだな」「10よりは快適に乗りやすそうだな」と皆さんも思いましたよね？また燃費35・5Km/Lと世界的にみても燃費がよく、経済的な魅力もある車でした。

と、いうことは我が30プリウスもまだまだ楽しめるのではないのでしょうか！カスタムパーツも豊富なので車高少し下げアルミホイールを履かせてもカッコイイですし、ルーフキャリアを付けてキャンプ仕様などにすれば最新のキャンブームでも使えそうですね。

私のプリウスはド純正なのでこれから私なりに自分好みにカスタムしてキラリと輝かせたいものです！（笑）

以上、プリウスの魅力について悠平がお伝えしました！



そして私が後に乗ることになる3代目プリウス（ZVW30）が2009年後半に販売開始されました。まず、これまでのプリウスにない見た目、正直前回りなんかカッコイイ！さらに1.5Lから1.8Lへエンジンも変更され、走りもより快適になったと思えました。

やはりこのあたりからプリウスに関する部品の問い合わせが多くなったと感じます。

それもそのはず、新車販売数が年間30万台、次に売れていたフィットで18万台、ヴィッツで12万台という事ですから、どれだけプリウスが売れていたかビックリしちゃいますよね？

やはり外見、燃費、走りやすさなどがマッチし、沢山の人が30プリウスを買ったのでしょね。さすが、私と一緒に見る目がありますね！（笑）

そんなこんなで私の30プリウス生活も始まりました。やはり1.8Lだとパワー不足感もなくストレスなく乗れます。また燃費がよいのでお財布にも優しいです。

実際に乗ってみて分かる部分ではHV駆動の仕組みや、バッテリーの充電感、回生ブレーキの感覚などを確認することが出来て勉強になりました。

やはりHV車だと走行距離にもよりますが、特に不具合がなければ車検取っつと乗っちゃいますよね？でも仕事などで距離を稼いでもったりするとHVバッテリーも消耗部品ですので電圧不足などでチェックランプ点灯などが多いのも事実・・・

ということで、弊社ではHVバッテリーの保証が今までは1年間（走行距離無制限）でしたが、これからも更に安心して乗っていただくために令和4年10月1日販売分から2年間（距離無制限）に変更しました！！1年も多く保証を延長しています。

という事は・・・これからもより長く乗れちゃいますね？

脱線してしまいましたが1月に新型プリウスが発売されましたね。

メチャクチャカッコいいですが納車までは相当かかるみたいですが・・・

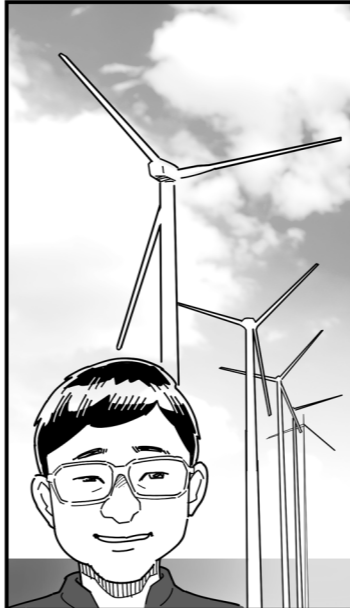
こんにちは！
販売課の平山です

最近GXという言葉を
聞くようになりましたね

GXとは
グリーン・トランスフォーメーション
の略です

GX
Green Transformation

温室効果ガスを発生させない
グリーンエネルギーに
転換することで
産業構造や社会経済を変革し
成長につなげることを
目的とされており



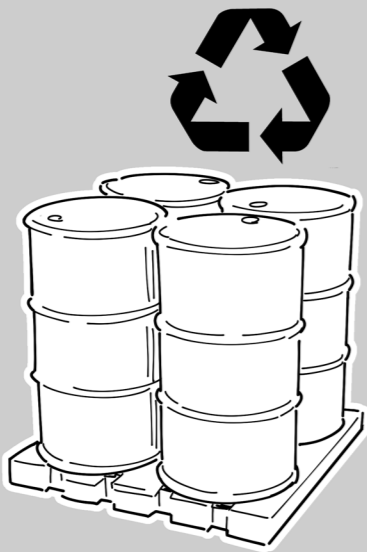
身近な例で言うと
お土産やプレゼントを購入する際
過剰包装をしないとか
エコバックを使用し、レジ袋を減らすのも
立派なCO2削減といえます



では、皆様の会社では
どうでしょうか？
具体的なCO2削減目標があり
削減数値を把握していますか？



フードロスを防ぐためにも
賞味期限の近いものを
なるべく購入するというのも
削減効果は大きいといわれています



中にはソーラーパネルを
設置している企業もあるでしょう
廃油を二次利用することにより
環境保全に貢献している
企業もあると思います

日本政府が掲げる2050年の
カーボンニュートラルの実現に向け
GXは非常に重要な取り組みの一つと
されています

2050年
脱炭素
「持続可能な社会を目指して」

GXは地球温暖化の要因の主な原因とされる
温室効果ガスを抑制するうえで

全ての企業にとって
率先して取り組まなければならない
重要な課題の一つです

しかし、環境保全に繋がる取組みと
自社企業との結び付けが
イメージしにくいことや



目先の事業活動を
どうしても優先してしまい
売上重視、利益重視の考えに
なっているのが
現状ではないでしょうか？

「と言ってもどうすれば……」

「正直CO2削減って言われても
ピンとこないな……」って
思いますよね



ほっ と、ひと息いかがですか？ Shall we take a break?

～3分で読める休憩コラム～

2023年から施行! 私たちにも関係ある道路交通法の変更とは？

私たちの生活の豊かさや安全を守るために、道路交通法は日々、色々な改訂や決定がなされています。法律が決まると施行日が離れていることも多いため、いつ、どんな変更があったかをタイムリーに知らないこともあるかもしれませんね。今回は、2023年に施行される道路交通法について、一部ご紹介いたします。

①レベル4の自動運転の運行解禁

自動運転のレベルは現在、1~5まであります。レベル1は、車線維持走行やブレーキを自動で行う運転支援。皆様の中にも、渋滞の疲労を軽減するためにこの機能をお使いの方もいらっしゃるかもしれません。対してレベル5は、完全無人の自動運転。「ミライのクルマ」という感じがしますよね。今回解禁されたレベル4は、特定条件下での完全自動運転を指します。今回の施行では、人口減少が進む地域で遠隔監視のもと、特定のルートを無人で走る巡回バスなどを想定しているそう。街中で無人バスを見かけたら、用が無くても思わず乗ってしまいそう！未来の技術だと思っていた自動運転が、すぐそこまで来ているんですね。



②遠隔操作型小型車の道交法ルール

遠隔操作型小型車とは自動配送ロボット等のことで、無人で、遠隔操作でゆっくりと走行する小型の車です。レストランでの配や空港内のご案内など、小型ロボットを目にする機会は徐々に増えてきました。今回の旅行では、公道を走行できるようになります。その際の交通ルールは歩行者と同様。ロボットと一緒に歩ける日も近いかもしれません。ただし、障害物にはまだまだ弱いので、通せんぼなどせず(笑)、円滑な走行に協力してあげてくださいね♪



③電動キックボードなどの取り決め

こちらは、2024年4月26日までに施行する法律ため、徐々に広まっていくルールとなります。免許不要で16歳以上が運転可能/16歳未満は運転禁止/乗車用ヘルメットは努力義務/原則車道通行(歩道通行モードに切り替え可能なものは自転車通行可の歩道を通行できる)/交通違反したら青切符の対象、など、細かく定められています。対象は、最高速度20km/h以下の乗り物です。十分にスピードが出ますので、ルールを守って、安全に乗りたいですね。

そのほか、法律改訂ではないですが、車検ステッカーの貼付位置の変更や、車検証の電子化も始まります。また、2025年4月26日までは、運転免許証とマイナンバーの統合なども施行されます。「知らなかった」ということがないよう、ドライバーの私たちも日々アンテナを張って、新しいルールに順応していきたいですね!

上記の記事は、自動車業界専門コンサルティング会社「株式会社チームエル」様のご協力によりご提供いただいています



でも実は
すぐ簡単なんです！

弊社のお客様は
自動車関連の企業のかたばかり

「中古部品やリビルト部品の購入が
CO2削減につながる」
という事を意識していただき
弊社から部品を購入していただき
ただそれだけです

三森コーポレーション

CO2削減数値

意識している企業様向けに
CO2削減数値を提供する
サービスを開始しています

※既に弊社の納品書にはCO2削減数値の記載はあります。

ご希望の企業様は
弊社までご連絡ください

何の型式の何の部品が
何kg削減になったのか
更に月単位で何kg削減になったのか
複数店舗ある場合は
全店舗合計の削減量も提供できます

GX、カーボンニュートラル、CO2削減などに賛同していただく企業様に限り、サービスの一環としてデータを無料で提供させていただきます。
※ご希望多数の場合には、やむをえず提供を中止させていただく場合もございますので予めご了承下さい。